

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

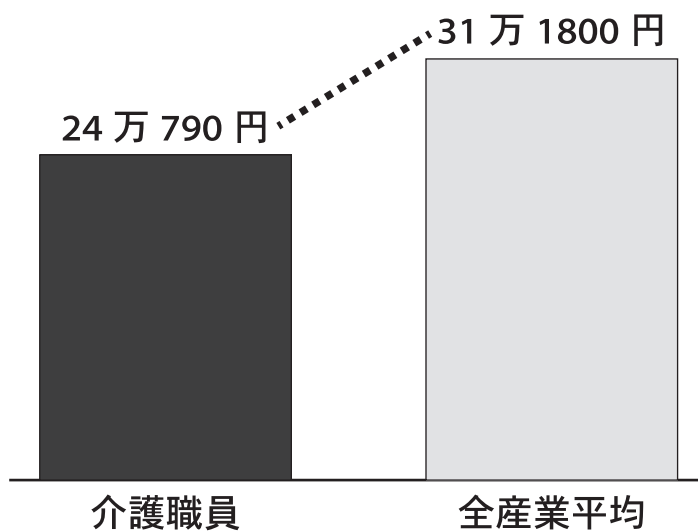
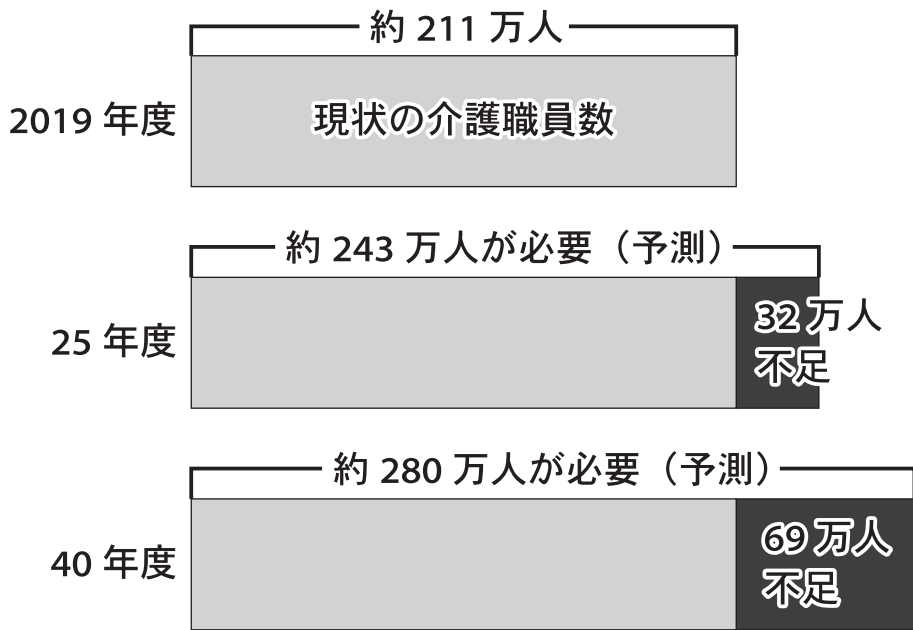
みんなでつくる部活動 6、7面
 グーグル 労働組合をつくりたかう青年たち 3面
 平和と生活を壊す「日米同盟」(下) 10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsin@dylj.or.jp

介護の社会的役割とは 誰もが安心できる制度の実現へ

介護職員不足見込み

全産業平均よりも月額 7万円以上低い給与



注：賞与を除く

全国労働組合総連合／一般社団法人労働運動総合研究所「2024年国民春闘白書—データブッカー」を基に作成

「普段はどのような業務を
 行っているのでしょうか？」
 普段は「サービス提供責任者」として働いていま
 す。主な業務内容は、新しい利用者さんが来たら、介
 護計画をケアマネジャー
 (ケアマネ)さんと家族と
 相談します。また、毎月の
 請求業務や、ルート(勤務
 シフト表作り)といった業
 務も担っています。

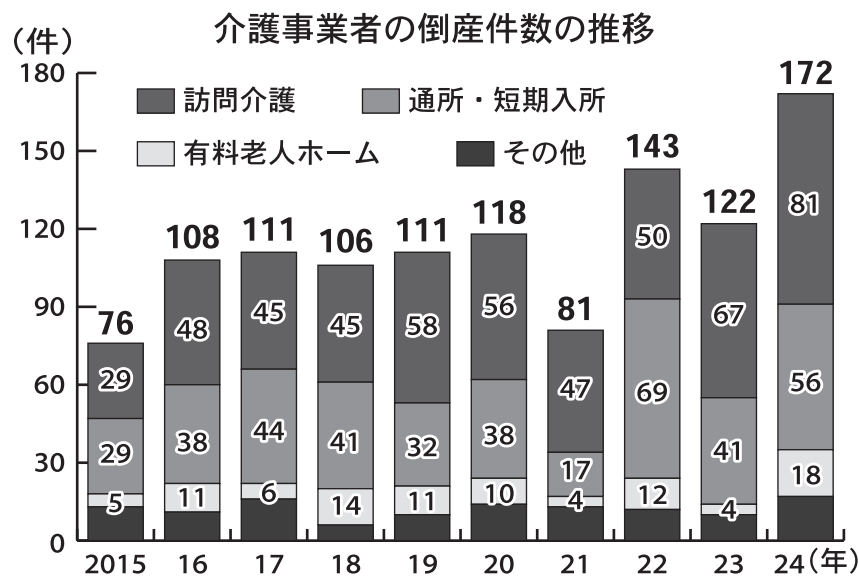
「もちろん、僕自身も利用
 者さんの自宅に訪問して介
 護を行います。主な内容
 は、身体介護(衣類の着
 脱、入浴介助、排せつ介
 助、家の中の歩行の見守
 りや歩行の介助)と生活援
 助(買い物、掃除、通院の

「訪問介護事業自体も、昨
 年行われた介護報酬(2面
 で説明)の引き下げによっ
 て今まで以上に経営も厳し
 助(買い物、掃除、通院の
 なくなっています。」

よりよい介護のために も人手が必要

日本は先進国で高齢化が最も進んで
 おり、介護の必要性はますます高まっ
 ています。それにも関わらず、介護事
 業所の経営は危機に陥り、人手不足も
 深刻です。介護の現場では何が起き
 ているのでしょうか。そして、どうい
 た対応が求められているのでしょうか。
 か。1面では、介護現場で働く倉茂信
 吾さんに介護の労働実態についてお話
 を伺いました。2面では、背景にある
 問題について、全国福祉保育労働組
 合・中央執行委員京都地本執行委員長
 大西謙さんにお話を伺いました。
 (栗山さつき記者)

介護職歴19年・都内の訪問介
 護で働く倉茂信吾さん(45)



「しんぶん赤旗」(1月10日付)を基に作成

(※) 政府は介護職員の処遇を改善した事業所に加算
 をつけているが、取得には条件があり、加算も
 不十分。当初から加算されても基本報酬引き下げ分を
 カバーできない事業所が出る懸念されていた。

「今年に入ってから、訪問
 介護の事業所閉鎖や合併の
 話をよく聞くようになりました。
 地域でよく聞くようになった
 話です。また、人手が十分
 ではありません。職員同士でも
 コミュニケーションを取って
 いくことで、円滑に業務も
 進められると思います。」

「訪問介護は「自宅で暮ら
 したい」という利用者さん
 の願いに対して、生活を支
 えることで、利用者さんが
 地域で安全に暮らすための
 大切な仕事だと思います。
 同時に、高齢者と一緒に暮
 らす家族自身も利用者さん
 の介護を行うヘルパーさん
 がいることで介護職を防
 ぐことができます。」

「ヘルパーさんが増えるこ
 とは、介護サービスにつな
 ぎやすくなり、働く人たちの
 負担の割合を増やしてい
 く必要があります。」